



伝統ある花笠踊りを誇りを持って披露する



元気いっぱい踊る子どもたち



年に一度市内を巡行する陣笠神社の三神体



豊年祭に扮する豊年踊り

おばなざわ 花笠まつり



「わたしもおどれるよ」



笑顔と踊りで観客を魅了する踊り手



花笠踊りも国際化



青年会議所によるずいかの水柱



楽しく踊る姿に観客は目を魅かれる

両日とも好天に恵まれ、参加した人も観客も、大勢の人が尾花沢の夏を締めくくるまつりを楽しみました。まつりが終わると、尾花沢にも秋がやってきます。

神輿の担ぎ手の威勢のいい声が、まつりの雰囲気を一層盛り上げました。
28日は、花笠踊り大パレードが行われました。市内外から64団体、約3千人の踊り手が参加し、団体ごとに100年の歴史を持つ伝統の笠踊りや創作踊りを披露。沿道の観客は、豪快な笠まわしやしやしやかな動きなど、踊りの違いを楽しみました。踊り手の「ヤッショーマカシヨ」という掛け声に、観客の拍手や声援も自然と大きくなり、踊り手と観客の一体感が生まれます。パレードにはテレビ中継が入り、花笠踊り発祥の地尾花沢を広くPRすることができました。辺りが暗くなると、踊り手の姿はライトに照らされ、より一層輝きを増していきました。



子供得みこし



踊り舞台さくら號



まつりの無事を祈願する

8月27、28日の2日間、「おばなざわ花笠まつり」が開催されました。太鼓やお囃子の音色、大きな掛け声や花笠音頭など、まつりの音がまちを元気づけました。
27日は、諏訪神社を出発したまつりの行列が本町地区を巡行。ふれ太鼓の音が近づいてくると、それを合図に人が集まってきました。沿道の人たちは獅子に頭を噛んでもらったり、天狗からお囃いを受けるとして無病息災を祈りました。今年の豊作を祈願する豊年踊りの「アレワイ、コレワイ」という独特な掛け声や、京都祇園の流れをくんだ尾花沢まつりばやしの優雅な音色のほか、囃子屋台の曳き手



若いエネルギーがまつりを盛り上げる



太鼓でパレードを盛り上げる花笠太鼓の皆さん



友好都市・岩沼市からも参加



北村山高校生198人が華麗に舞う



幼い子ども一生懸命踊る



京都祇園の流れをくむまつりばやし



天狗によるお囃い



力強い太鼓の演奏が夜空に鳴り響く



復興ゆめバンドが今年もやってきた

